



1

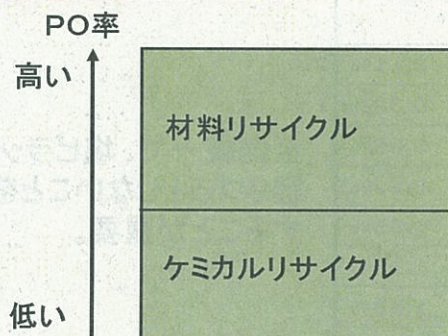
1 ベールの品質向上に関する項目

ベール品質別入札制度の提案

PO率が高いベールを材料リサイクルに落札させる入札制度の導入

- 市町村の分別適合物の品質評価には、PO率が評価されていないが、PO率が高いベールが材料リサイクルしやすい。
- 全国の市町村のベール検査時にPO率を評価し、PO率が高いベールから順に優先材料リサイクル用ベールとする仕組みが望ましい。
- 分別を丁寧に行っている自治体は、材料リサイクルされることになる。

入札制度のイメージ



環境負荷低減効果

- ・全体的に収率が向上し、残渣が減少するため、LCAが良くなる。
- ・ペレットの品質が向上し、ペレットのバーজন材の代替率が向上し、LCAが良くなる。

コスト削減効果

- ・残渣処分量が減るため、コストダウンになる。
- ・ペレットの品質が向上し、製造量も増えるため、製品の売り上げが増加する。

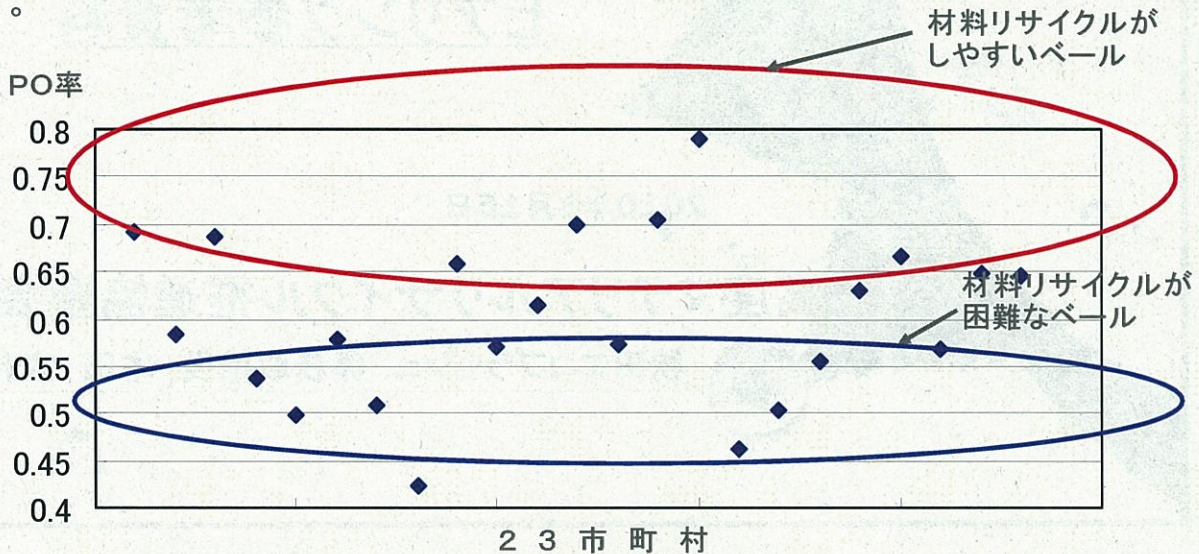
2

(参考) 自治体ベールのPO率の分析例

-23自治体のベールのPO率の分析をした。最低で、42.2%、最高で、79.0%とばらつきが大きかった。

-一般的に、PPやPEは、複層フィルムやアルミ蒸着されているケースも多いため、実際に製品化される量は、PO率より更に低くなるのが一般的である。

-PO率が高いベールほど、材料リサイクルは、LCAが良くなり、コストダウンになる。



(出典: 会員企業の平成21年度落札したベールのPO率の実績値)

3

高度マテリアルリサイクル推進協議会

分別収集段階からの塩ビラップの除外の提案

塩ビラップは、分別段階から容器包装プラとして回収しない

- 塩ビラップは、分別段階から除外する。
- 塩ビラップを容器包装プラとして分別しない区分とすることで、大幅に塩素濃度が下がることが確認できる。

環境負荷低減効果

-選別精度あげなくて済む分、選別工程を軽減でき、LCAは向上する。

コスト削減効果

-塩素除去のための設備投資がいらなくなる。

市町村	容り以外として分別	容りとして分別	ルールなし	塩素濃度換算
A	●			0.11%
B	●			0.38%
C	●			0.68%
D		●		0.92%
E		●		1.03%
F		●		1.18%
G			●	1.38%
H			●	1.58%
I			●	1.81%

最大で、
約16倍の差

全国統一で、塩ビラップは、容りプラとしないことを明記することが重要。

(出典: 会員企業の平成21年度落札したベールの塩素濃度換算値)

4

高度マテリアルリサイクル推進協議会